

平成24年度 事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日 昭和49年2月8日

協会は、昭和49年2月8日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会として設立。平成15年7月1日に(社)青森県家畜畜産物衛生指導協会を存続法人として、(社)青森県畜産会及び青森県肉用牛協会が再編統合し名称を(社)青森県畜産協会に変更した。平成20年6月1日に青森県草地畜産協会と統合。更に平成22年4月1日に(社)青森県畜産物価格安定基金協会と合併した。

平成25年3月21日付け指令707号で青森県知事から一般社団法人への移行認可を得て、平成25年4月1日付けで一般社団法人青森県畜産協会に移行する。

2. 定款に定める目的

協会は、畜産経営の安定的向上と良質な畜産物の生産と流通に貢献し、もって畜産の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 畜産に関する生産の振興及び経営技術の指導に関する事業
- (2) 畜産に関する調査・研究及び情報の提供に関する事業
- (3) 畜産農家等が組織する団体の運営の指導に関する事業
- (4) 畜産に関する技術・知識の普及啓発並びに畜産指導員の教育及び養成に関する事業
- (5) 家畜防疫互助基金及び肉用牛肥育経営安定基金に関する事業
- (6) 肉用子牛に関する生産者補給金交付契約の締結、生産者積立金の積立て及び生産者補給金の交付に関する事業
- (7) 肉豚に関する価格差補てん金交付契約の締結、生産者積立金の積立て及び価格差補てん金の交付に関する事業
- (8) 家畜の健康保持等に関する技術の指導及び自衛防疫の推進に関する事業
- (9) 畜産物に関する衛生指導及び検査に関する事業
- (10) 草地基盤の整備・拡充並びに自給飼料の生産、流通及び利用に関する事業
- (11) 放牧の促進並びに公共牧場の利活用並びに経営の推進及び指導に関する事業
- (12) その他協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項 青森県 農林水産部 畜産課

5. 会員の状況

区 分	23年度末 会 員 数	24年度		24年度末 会 員 数	備 考
		増	減		
正 会 員	83	1	1	83	シャモロック生産者協会
賛助会員	2	0	0	2	(退会)来満牧野畜産農協
計	85	1	1	85	

6. 主たる事務所 青森市中央二丁目1番15号（畜連ビル2F）

7. 役員に関する事項

(1) 役員の変動

① 理 事

区 分	氏 名	所 属 団 体	年 月 日
辞 任	石 澤 善 成	津軽地方家畜衛生推進協議会 会長	H24. 6. 20
辞任・副会長	相 坂 陸 秀	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	H24. 7. 31
就 任	福 島 弘 芳	津軽地方家畜衛生推進協議会 会長	H24. 10. 16
就任・副会長	常 田 道 彦	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員	

② 監 事

区 分	氏 名	所 属 団 体	年 月 日
就 任	川 村 慎 一	法量牧野畜産農業協同組合 代表理事組合長	H24. 6. 19

8. 職員に関する事項

(1) 職員の変動等

区 分	氏 名	年 月 日	備 考
昇 格	課 長	鹿 内 晴 美	H24. 4. 1 価格安定・衛生課
	技 師	太 田 亜 夢 子	H24. 4. 1 経営支援課
再雇用	嘱託職員	伊 藤 信 子	H24. 4. 1 経営支援課

(2) 職員数の動き

前期末 職員数	増	減	本年度末 職員数	平均年齢	平均勤続 年 数	備考
11	1	0	12	47.9	16.0	

(正職員9名、嘱託1名、臨時2名、非常勤を除く。)

9. 許認可等に関する事項

(1) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に

関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第45条の規定により、平成25年3月21日（指令707号）で青森県知事から一般社団法人への移行認可を得た。

10. 会議の開催に関する事項

(1) 理事会・総会の開催状況

区 分	開催期日・場所	内 容（議案）
第1回理事会	平成24年 5月25日 ラ・プラス青い森	1 議案 (1)平成 23 年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について (2)平成 24 年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について (3)平成 24 年度借入金限度額及び取引金融機関の承認について (4)平成 24 年度生産者積立金融事業の借入金限度額及び借入先の承認について (5)平成 24 年度役員報酬について (6)平成 24 年度事業計画及び収支予算(案)について (7)業務方法書の一部変更について (肉用牛肥育経営安定対策事業、家畜防疫互助事業) (8)指定獣医師の委嘱について (9)役員の補欠選任について (10)第9回通常総会（平成24年度）の開催時期及び提出議案について (11)家畜防疫互助事業に係る手数料について
第9回通常総会	平成24年 6月19日 ラ・プラス青い森	1 議案 (1)平成23年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認について (2)平成24年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法について (3)平成24年度事業計画及び収支予算の決定について (4)平成 24 年度生産者積立金融事業の借入金限度額及び借入先の承認について (5)平成 24 年度役員報酬について (6)役員改選について (7)新法人への移行について

第2回理事会	平成24年 9月26日 ラ・プラス青い森	1 議案 (1)一般社団法人青森県畜産協会定款（案）について (2)一般社団法人への認可申請について (3)役員候補の補選について (4)臨時総会の開催について (5)正会員の加入について
平成24年度 臨時総会	平成24年10月16日 ラ・プラス青い森	1 議案 (1)一般社団法人青森県畜産協会定款（案）について (2)一般社団法人への認可申請について (3)役員候補の補選について
第3回理事会	平成25年 3月18日 ラ・プラス青い森	1 議案 (1)平成24年度収支予算の変更（補正）について (2)平成25年4月から6月までの収支予算（暫定）について (3)諸規程及び各業務方法書・業務規程の一部変更について (4)理事会運営規程の制定について (5)指定獣医師の委嘱について (6)平成25年度通常総会・第1回理事会の開催案について (7)正会員の入会について 2 報告・協議 (1)一般社団法人への移行について (2)任期満了に伴う役員候補者推薦団体について

(2) 監査会等実施状況

① 監事会

開催期日	開催場所	内 容
平成24年 5月21日	青森県畜産協会 会議室	(1)平成23年度会計事務及び業務に関する監査

② 三上公認会計士事務所による会計事務等の調査・指導

開催期日	場 所	内 容
平成24年 5月17日	青森県畜産協会 会議室	(1)平成23年度決算に係る財務調査・指導
平成24年11月14日	青森県畜産協会 会議室	(1)平成24年度中間財務調査・指導
平成25年 3月14日	青森県畜産協会 会議室	(1)平成24年度財務調査・指導
平成25年 3月29日	三八協議会 上十三協議会	(1)予防接種事業ワクチン在庫の現地確認調査

11. 重要な契約に関する事項

契約名	契約相手	契約概要・内容	契約年月日	契約期間
物品(家畜伝染病予防ワクチン)供給契約	MPアグロ(株) 小田島商事(株) (株)アグロジャパン	家畜伝染病予防ワクチン 購入に係る単価契約	H24. 4. 1	1年間

12. 基金に関する事項

(1) 預り運営基金

(単位：円)

区分		家畜衛生	肉用子牛	肉豚	計
正会員 (69団体)	期首残	81,000,000	254,260,000	178,100,000	513,360,000
	増減	0	0	0	0
	期末残	81,000,000	254,260,000	178,100,000	513,360,000

(2) 運営特別基金等

(単位：円)

団体名		運営基盤強化基金	運営特別基金	肉用子牛	計
農畜産業振興機構	期首残	50,000,000	174,370,000	-	224,370,000
	増減	△ 50,000,000	0	-	△ 50,000,000
	期末残	0	174,370,000	-	174,370,000
全国肉用牛振興基金協会		-	-	5,000,000	5,000,000
計		0	174,370,000	5,000,000	229,370,000

13. 会員名簿

(1) 正会員

H25. 3. 31 現在

No.	会員名	No.	会員名
1	青森県	43	(一社)青森県養豚協会
2	青森市	44	(社)青森県獣医師会
3	弘前市	45	(社)青森県配合飼料価格安定基金協会
4	八戸市	46	青森県養鶏協会
5	黒石市	47	東青地区家畜衛生推進協議会
6	五所川原市	48	三八畜産衛生協議会
7	十和田市	49	上十三地区家畜衛生推進協議会
8	三沢市	50	むつ地区家畜衛生推進協議会
9	むつ市	51	津軽地方家畜衛生推進協議会
10	つがる市	52	青森農業協同組合
11	平川市	53	つがるにしきた農業協同組合
12	平内町	54	ごしょつがる農業協同組合
13	今別町	55	つがる弘前農業協同組合
14	外ヶ浜町	56	津軽みらい農業協同組合

15	蓬 田 村	57	十和田おいらせ農業協同組合
16	鯨ヶ沢町	58	ゆうき青森農業協同組合
17	深 浦 町	59	おいらせ農業協同組合
18	藤 崎 町	60	八戸農業協同組合
19	鶴 田 町	61	東青畜産農業協同組合
20	中 泊 町	62	三戸畜産農業協同組合
21	野 辺 地 町	63	五戸畜産農業協同組合
22	七 戸 町	64	三本木畜産農業協同組合
23	六 戸 町	65	青森県七戸畜産農業協同組合
24	横 浜 町	66	田名部畜産農業協同組合
25	東 北 町	67	大間町畜産農業協同組合
26	おいらせ町	68	つがる市屏風山畜産組合
27	六ヶ所村	69	袖平牧野畜産農業協同組合
28	大 間 町	70	田代牧野畜産農業協同組合
29	東 通 村	71	深持牧野畜産農業協同組合
30	佐 井 村	72	奥瀬牧野畜産農業協同組合
31	三 戸 町	73	斗南丘酪農農業協同組合
32	五 戸 町	74	(農)和乎高原開発農場
33	田 子 町	75	中部上北広域事業組合
34	南 部 町	76	(農)北栄トラクター利用組合
35	階 上 町	77	(農)吹越台地飼料生産利用組合
36	新 郷 村	78	(公社)あおもり農林業支援センター
37	全国農業協同組合連合会青森県本部	79	北原電牧(株)
38	青森県農業協同組合中央会	80	雪印種苗(株)十和田営業所
39	全国共済農業協同組合連合会青森県本部	81	ヤンマー農機販売(株)青森推進部
40	青森県農業共済組合連合会	82	法量牧野畜産農業協同組合
41	青森県畜産農業協同組合連合会	83	青森シャモロック生産者協会
42	青森県軽種馬生産農業協同組合		

(2) 賛助会員

No.	会 員 名	No.	会 員 名
1	青森県農業信用基金協会	2	青森県動物薬品器材協会

14. 役員名簿

H25. 3. 31 現在

役 職	氏 名	区分	所 属 団 体
会 長	渡 部 毅	非常勤	学識経験者（元 十和田湖町町長）
副 会 長	山 崎 憲 久	非常勤	上十三地区家畜衛生推進協議会 会長
副 会 長	常 田 道 彦	非常勤	全国農業協同組合連合会青森県本部 運営委員
専務理事	山 田 育 夫	常 勤	学 識 経 験 者
理 事	小山田 久	非常勤	十 和 田 市 市 長
理 事	小 又 勉	非常勤	七 戸 町 町 長
理 事	古 川 健 治	非常勤	六 ヶ 所 村 村 長
理 事	山 口 眞 譽	非常勤	(社)青森県獣医師会 理事
理 事	三 浦 正 名	非常勤	三八畜産衛生協議会 副会長（五戸町長）
理 事	福 島 弘 芳	非常勤	津軽地方家畜衛生推進協議会 会長（つがる市長）
理 事	山 内 正 孝	非常勤	青森県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	大 関 政 敏	非常勤	ゆうき青森農業協同組合 代表理事組合長
理 事	布 施 久	非常勤	(一社)青森県養豚協会 会長理事
理 事	田 嶋 政 榮	非常勤	青森県農業共済組合連合会 理事
理 事	青 野 正 宣	非常勤	(社)青森県配合飼料価格安定基金協会 理事長
監 事	白 戸 勝 一	非常勤	学識経験者（ごしょつがる農協 組合長）
監 事	川 村 慎 一	非常勤	法量牧野畜産農業協同組合 代表理事組合長

II 事業の状況

1 事業実施概要

高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫の発生に伴い、消費者に信頼される畜産物の生産体制の確立と家畜排せつ物の堆肥利用による耕畜連携の利用促進、加えて地域性に配慮した担い手の育成と家畜衛生対策の充実強化が強く求められている。

近年、配合飼料や生産資材の高騰により各畜種とも収益が低下しており、経営の合理化や生産コストの低減に向けた取り組みが求められており、家畜の損耗防止対策、経営及び生産技術の向上対策、飼料自給率向上対策及び価格安定対策などを県・市町村及び関係団体と連携して推進し、本県の畜産振興に寄与した。

III 事業別実績概要

一般会計

1 家畜衛生対策

1. 補助事業

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業（国補助・事業費 18,044,777円）

症状が明確でない慢性的な伝染性疾患の増加に加え、清浄化が困難な伝染性疾患の発生がみられることから、生産者サイドでの自主的・組織的な取組により疾患の清浄化及び発生・流行防止対策を推進し、損耗防止を図った。

① ヨーネ病早期清浄化のための防疫推進

患畜同居牛の自主淘汰促進： 淘汰奨励費交付頭数 20頭（8戸）

② オーエスキー清浄化推進総合対策

種豚抗体検査：101頭（1戸）

③ 伝染病の発生・流行防止支援対策（ワクチン接種促進）

牛（3疾患）：8,121頭（アカネ病 8,035頭、牛流行熱・バネ病 44頭、牛異常産3種 42頭）

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（国補助・事業費 15,633,712円）

牛海綿状脳症（BSE）の浸潤状況をより正確に把握し、BSEの防疫対策を検証するため、「牛海綿状脳症対策特別措置法」に基づき、24月齢以上の死亡牛の検査と適正処理の推進を図った。

死亡牛の管理促進費、輸送促進費及び化製処理費の補助： 24月齢以上 1,272頭

(3) 獣医師養成確保修学資金貸与事業（国補助・事業費 6,047,899円）

本県の家畜防疫体制の強化を図るため、本事業の普及啓発を図り、獣医師養成確保修学資金を貸与した。

① 修学資金貸与者：4名

② 共同負担者：青森県、青森県農業共済組合連合会

(4) 豚丹毒予防接種向上対策事業（市町村補助・事業費 124,740円）

豚丹毒の発生を防止することにより養豚産業の安定的な発展を図るため、本会が行う豚丹毒予防接種向上対策事業に要する経費の一部に対し、関係市町村が本会を經由して生産者に補助金を交付した。

- ① 実施市町村： 七戸町、六戸町
- ② 補助対象頭数： 8,316頭
- ③ 補助金単価： 1頭当り15円

(5) 家畜防疫互助基金支援事業（機構補助・事業費 1,499,000円）

豚コレラ及び口蹄疫等の海外悪性伝染病が発生した場合、畜産経営への影響を緩和するため、飼養する豚及び牛の淘汰に伴う損失を生産者等が互助補償する仕組への加入推進を図った。

- ① 対象伝染病： 口蹄疫、牛疫、牛肺疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラ
- ② 互助金交付： 殺処分又は自主淘汰した家畜の評価額及び焼却・埋却費用
- ③ 契約締結状況： (24年度)

区分	契約戸数	契約頭数	積立金額
牛	861	70,236	12,425,855
豚	33	298,882	17,237,575
計	894	369,118	29,663,430

(6) 衛指協事業強化推進事業（中央畜産会補助・事業費 53,000円）

家畜伝染病予防接種推進対策事業の効率的な実施に必要な研修会を開催した。

生産者、指定獣医師等を対象とした畜産技術研修会の開催： 1回

(7) 育成馬予防接種推進事業（中央畜産会補助・事業費 1,376,824円）

軽種馬生産地における伝染性疾病の発生流行防止のため、育成馬の予防接種の徹底を図った。

- ① 馬インフルエンザ、馬流行性脳炎、破傷風（3種混合）予防接種 397頭
- ② 馬インフルエンザ予防接種 79頭
- ③ 馬日本脳炎予防接種 13頭

2. 委託事業

(1) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会委託・事業費 422,425円）

馬の生産、流通の広域化等により伝染性疾病の侵入、流行の危険性も大きいことから、競走馬以外の馬の飼養衛生に関する講習会の開催、基礎調査等を実施し馬衛生管理の向上を図った。

- ① 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会開催： 1回（H25.2.26 七戸町）
- ② 馬飼養衛生管理技術地方講習会開催： 1回（H24.11.9 十和田市）
講師：北里大学獣医学部動物資源科 動物行動学研究室 講師 入交 眞巳 氏
講題：「本当にグイッポ(さく癖)は治す事ができないのか？」

～動物の常同障害という病気について～

- ③ 馬獣医療実態調査： 15戸

(2) 軽種馬生産地域馬鼻肺炎予防接種及び地域自主防疫活動強化緊急対策事業

(中央畜産会委託・事業費 3,348,515円)

牛サルモネラ症等の発生予防のための地域ぐるみでの石灰消毒の実施するため消毒機器を整備した。乗用馬に対する馬インフルエンザのワクチン接種及び軽種馬の繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎のワクチン接種を推進した。また、自主防疫活動の重要性についての普及啓発などの取組を行い、伝染性疾病の発生予防など防疫措置の徹底を図った。

① サルモネラ症発生予防対策 ((2)の内数、事業費 25,855円+塗布機 793,695円)

地区検討会の開催： 1回

石灰乳塗布機の導入： 2台

② 馬インフルエンザ及び馬鼻肺炎予防接種 ((2)の内数、事業費 1,188,985円)

馬インフルエンザ予防接種： 127頭 (乗用馬 102頭、農耕馬 0頭、その他 25頭)

馬鼻肺炎予防接種： 125頭

③ 地域自主防疫活動普及・啓発事業 ((2)の内数、事業費 1,339,980円)

地域自主防疫推進会議の開催： 5地区

(H24.9.25 七戸町、H24.10.9 十和田市、H24.10.10 むつ市、H24.11.13 つがる市、
H24.11.14 八戸市)

繁殖牝馬防疫推進検討会の開催： 2回 (H24.9.25、H25.2.26 七戸町)

(3) 牛せき柱適正管理等推進事業 (日本畜産副産物協会委託・事業費 820,384円)

畜産リサイクルシステムの機能の回復と豚肉骨粉等の飼料利用を推進するため、食肉業者と化製業者が原料の引渡し・引受け段階において牛原料を含まない原料供給の促進を図った。

契約業者数： 4業者

3. 協会単独事業 (自主事業)

(1) 自衛防疫強化対策事業 (事業費 785,364円)

最近における家畜の飼養衛生の実態を踏まえ、自衛防疫体制の確立と自衛防疫事業の効率的な推進を図った。

① 事業推進会議 運営協議会 1回 (H25.2.13 青森市)

県推進会議 1回 (H24.8.6 青森市)、地域推進会議 5か所

② 生産者打合せ会

養豚生産者事業打合せ会 H24.11.6 十和田市

肉用牛生産者事業打合せ会 H24.11.12 十和田市

(2) 自主防疫推進事業 (予防接種事業) (事業費 57,925,888円)

家畜伝染病の発生・流行の防止のため、国・県の指導のもとに、生産者・市町村関係団体及び地区家畜衛生推進協議会による防疫体制の強化を図りながら、指定獣医師による家畜伝染病予防接種事業の円滑な推進を図った。

① 予防接種事業の種類・実績

(単位：頭、羽)

種 類		実績数	種 類		実績数
鶏	ニューカッスル病 (ND)	100,000	牛	牛伝染性鼻気管炎 (6種)	10,716
	ニューカッスル病・IB(混)	59,000		牛クロストリジウム (3種)	7,603
豚	豚 丹 毒 (生20ml)	25,319	牛	牛クロストリジウム (5種)	103
	豚 丹 毒 (生50ml)	35,236		牛ヘモフィルス感染症	2,221
	豚 丹 毒 (不・オイル)	6,900		牛 下 痢 (5種混合)	160
	豚 流 行 性 脳 炎	985	馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	113
	豚パルボウイルス感染症	0		馬 インフルエンザ	6
	豚流脳・パルボ (混)	60		馬 流 行 性 脳 炎	31
牛	牛伝染性鼻気管炎 (5種)	7,875	馬 鼻 肺 炎	21	

(3) 総合指導事業 (事業費 1,044,676円)

家畜の疾病が複雑多様化していることから、地域で抱えている家畜衛生対策の課題解決に必要な事業への助成並びに指定獣医師の技術向上等を図った。

① 家畜防疫地域活性化促進事業

(東青地区) 産業動物獣医療安定確保対策事業

肉用牛飼養農家へ獣医師が定期的に巡回日を確認し、治療・繁殖検査等の診療機会を図った。

(上十三地区) 自主防疫推進事業

皮膚病薬を開業医に配布し、消毒機器を活用した消毒・衛生駆除を行った。

薬剤配布獣医師 2名、牛舎の消毒石灰塗布 6戸

(むつ地区) ミルキングシステム点検事業

正しい搾乳技術とミルキングシステムの点検を促進し、乳質の向上と乳房炎の発生を予防し、もって酪農経営の安定を図った。 22戸

② 研修・広報事業

ア 地区研修会等開催状況 開催協議会： 5地区、開催回数：6回

イ 広 報 (5地区) 発行回数： 延28回、発行部数：5,174部

③ 家畜衛生功労者表彰

ア 表彰規程第2条第1項 (生産者等)： 3名

イ 表彰規程第2条第2項 (指導者等)： 4名

④ 事故対策

(4) 自衛防疫指導委託事業 (事業費 2,750,000円)

地区家畜衛生推進協議会に対し、本会が行う自衛防疫関連事業及び総合指導事業などの推進を委託し、事業の円滑な推進を図った。(東青、三八、上十三、むつ、津軽)

(5) 家畜防疫互助推進事業 (事業費 283,604円)

家畜防疫互助基金造成等支援事業の推進を補完した。

2 経営支援対策

1. 補助事業

(1) エコフィード緊急増産対策事業（国補助・事業費 3,717,000円（内、619,320円））

地域における未活用資源の利用体制確立のため、関係者による十和田地域エコフィード推進協議会を設置、エコフィード（食品残渣飼料）に係る意向調査、普及啓発活動などを行い、利用体制の確立を図った。

① マッチング・システム構築事業

ア マッチング・システム協議会の開催	2回
イ 排出者及び関係業者への啓蒙活動	1回
ウ 住民向け広報活動	4回
エ エコフィード豚試食及び意見交換会	3回
オ エコフィード事業の成功事例調査（北海道札幌市）	1回
カ 小売業者及び外食産業に係わるエコフィード豚利用意向調査	1回
キ 一般消費者に係わるエコフィード豚利用意向調査	1回
ク 排出側、使用側及び利用側の情報取りまとめ及びホームページ掲載	1回

② 地域未活用資源飼料化体制確立支援事業

ア 地域調整協議会の開催	2回
イ エコフィード試作、給与試験、分析等	1回

(2) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（機構補助・事業費 9,212,000円）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の抛出と国の助成により造成した基金から、粗収益と生産費との差額の8割を補填することにより、肉用牛肥育経営の安定を図る制度で、肉用牛生産基盤拡大に寄与した。なお、粗収益が生産費を下回ったため、平成23年7月期から毎月補填となり、平成24年2月期から平成25年1月期（平成25年3月交付実績）までの期間において補填金の交付を行い経営の安定に資した。

① 対象家畜：肉専用種、交雑種、乳用種

② 交付条件：1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の8割

③ 補填金の交付及び基金管理に要する事務

④ 事業推進委託等（事務委託先：13団体）

⑤ 補填金の交付状況

（単位：円）

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
平成24年2月～ 平成25年1月	115,230,700	539,886,000	1,604,654,300	2,259,771,000

⑥ 平成24年度 生産者積立金単価

区 分	肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	備 考
生産者積立金単価	13,000円	30,000円	30,000円	

(3) 畜産経営技術指導事業（地全協補助・事業費 6,384,051円）

畜産農家の安定的経営を目途に基幹職員を配置し、国及び県等の各種事業の推進による畜産指導を効果的に行う体制を整備強化した。

- ア 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化
- イ 地域畜産に対する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化
- ウ 地域畜産の活性化推進体制の強化
- エ 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化

(4) 若手及び女性農業者支援体制強化事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 141,893円）

畜産をめぐる厳しい情勢に対応するため、女性の経営意識を高め、地域一丸となって生産技術の向上に努める必要がある。よって、畜産に携わる女性を中心とした研修会等を開催し、生産技術の向上を図った。

第10回モーモーマーちゃんの集い（H25.3.15 十和田市）55名

(5) 堆肥利用ネットワーク推進事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 1,864,838円）

耕畜連携のもと、堆きゅう肥の利用促進を図るため普及啓発活動を実施した。

- ア 堆肥利用技術の講習会 1回
- イ 協議会の開催 1回
- ウ 畜産堆肥展示会 7回
- エ 堆きゅう肥品評会 1回
- オ ホームページによる情報提供 12回
- カ 堆肥の生産に係る調査 10件
- キ 堆肥の利用に係る調査 85件

(6) 地域特産物ブランド化推進事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 1,162,470円）

国産食肉の地域ブランドを確立し生産・需用基盤の強化を図るため、販売強化対策を行い、ブランド化確立を図った。（消費者等に対するセールスプロモーション）

- ① シャモロック： あおもり満喫フェア（H24.12.8～9）7,300名（2日間）
パンフレット 2,000部
- ② あおもり短角牛： あおもり短角牛試食販売フェア（H24.12.8～9）400パック（2日間）
アスパムカレーまつり（H25.1.12～14）400食（3日間）
日本短角牛熟成肉講座（H25.3.17）22名
- ③ 県産豚肉： 手作りソーセージ教室（H25.2.15）31名

(7) 地方競馬支援活動事業（地全協補助・(3)の内数で事業費 334,590円）

馬事・畜産の普及啓発を図るため、岩手県盛岡競馬場で青森県産加工品の無償配布を行った。
平成24年度畜産フェア（H24.11.4 岩手県盛岡市）200個

(8) 畜産特別資金等推進指導事業（中央畜産会補助・事業費 2,100,524円）

畜産特別資金が必要であると思慮される経営体の早期把握に努め、事業の適正かつ円滑な実

施を図るため、融資機関及び借入者に対する必要な指導その他必要な支援を行った。

① 計画作成指導（なし）

② 改善計画見直し指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導
畜産経営維持緊急支援資金	12戸	12戸	12戸

③ 改善計画達成指導

資金名	借入者	経営分析による指導	現地指導	濃密指導
大家畜経営改善支援資金	1戸	1戸	2戸	1戸
大家畜経営体質強化資金	2	2	4	0
大家畜経営活性化資金	2	2	4	2
畜産経営維持緊急支援資金	12	12	12	0
計	17	17	22	3

(9) 民間グループ被災畜産農家救済活動推進事業（中央畜産会補助・事業費 1,469,486円）

福島第一原子力発電所の事故発生以降に収集された放射性セシウムを含む稲わらが給与された肉用牛から、食品衛生法の暫定規制値を越える放射性セシウムが検出されたことに伴い、被害を受けた肉用牛肥育経営の支援を図る目的から、(独)農畜産業振興機構の補助を受け緊急支援金を平成23年度に交付した。

平成23年度肉用牛肥育経営緊急支援事業において、78事業対象者へ交付した緊急支援金1,324,800,000円（26,496頭×50,000円）について、四半期毎に販売・異動等された場合に生産者に返還請求を行い返還された額を(独)農畜産業振興機構へ返還した。

① 緊急支援金の生産者への返還請求実績

区分	返還請求		返還未請求頭数	返還未請求額	請求進捗率
	頭数	請求額			
返還請求実績	25,413	1,270,650,000	1,083	54,150,000	95.9%

② 緊急支援金の生産者からの返還実績

区分	返還実績		未返還		返還進捗率
	頭数	返還額	頭数	未返還額	
返還実績	16,036	801,800,000	9,377	468,850,000	63.1%

③ 緊急支援金の(独)農畜産業振興機構への返還実績

区分	返還実績頭数	返還実績額	備考
第1回返還(H24.5.25)	599	29,950,000	
第2回返還(H24.8.27)	4,866	243,300,000	
第3回返還(H24.11.26)	1,056	52,806,332	6,332円(利息)
第4回返還(H25.2.25)	3,985	199,250,000	
合計	10,506	525,306,332	

(10) あおもり短角牛消費拡大普及事業

(むつ小川原地域・産業振興財団補助・事業費 1,875,120円)

青森県の風土に根ざした貴重な牛肉である日本短角牛の特徴や魅力について県内外へ広くPRし、試食会などによる消費拡大、短角牛肉の強みを前面に出した販路の新規開拓、販売体制の確立などを実施することによって、県内での日本短角牛の知名度向上及び魅力ある食材としての認知を図り、もって本県日本短角牛生産者の意欲向上及び生産拡大を推進した。

- ① 小売業者を対象とした講演、レシピ紹介、試食（販路開拓イベント H24.10.9）37名
- ② 試食販売PR（試食販売フェア H24.11.14）200パック
- ③ 飲食店シェフを対象とした講演、食べ比べ（PRイベント H25.2.5）30名

2. 委託事業

(1) 畜産経営体支援指導体制確立事業（県委託・事業費 3,598,000円）

高度な技術を基盤とした生産性の高い畜産経営体を広範かつ急速に育成するため、畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する支援・指導を行い畜産の振興を図った。

- ① 畜産経営体支援指導研究会 1回
- ② 地域指導相談窓口の配置 3ヶ所（東青・下北、三八・上北、津軽）、106件
- ③ 畜産経営技術の総合支援個別支援 146件
- ④ ホームページによる情報提供
- ⑤ 畜産情報のデータベース蓄積と経営支援（巡回支援指導 10戸）

(2) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会委託・事業費 137,000円）

畜産をめぐる厳しい内外環境に対処するため、地域の特性と実態に即した団体の組織的活動が重要である。このため、関係団体と緊密な連携のもとに牛を飼う女性の仲間づくりとして研修会を開催した。

- ① 平成24年11月16日 むつ市、参加者 35名
- ② 平成24年11月22日 大間町、参加者 15名

(3) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会委託・事業費 668,020円）

畜産経営の近代化と体質強化を図るため、畜産関係機械施設のリース事業により整備したトラクター等飼料生産利用設備及び生乳生産合理化施設の利用状況調査・指導並びに新規開拓に係る調査を行った。

- ① 利用状況調査・指導： 60戸、基数： 80基
- ② 新規開拓調査： 18農協各支所

(4) 明日への道標・地域畜産災害再生支援事業（中央畜産会委託・事業費 334,000円）

東日本大震災の発生及びそれに伴う原発事故が青森県の畜産経営にもたらした被害・影響、発生時の緊急的な対応、その後の課題や現在の状況について、畜産経営や関係機関等を対象に、調査・聞き取りを実施し、調整・取りまとめを行った。

- ① 災害発生時における畜産経営等対応状況等調査 8ヶ所
- ② 復興・復旧に係る優良事例の調査 1ヶ所

3. 協会単独事業（自主事業）

（1）肉用牛肥育経営安定対策推進事業（事業費 5,840,800円）

肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るために事務委託先 13団体に対し、委託事務に要する経費等を助成した。

（2）畜産振興対策事業（事業費 502,549円）

① 広報事業

生産技術の普及向上のため、各地域の畜産共進会に副賞を授与した。また、「畜産協会だより」を4回（1,600部）発行し配布した。

② その他畜産振興に対する支援を行った。

（3）草地畜産振興対策事業（事業費 32,140円）

市町村及び農業協同組合等が運営管理している公共牧場及び草地・飼料作物の生産に係る団体が抱えている問題解決のため研修会、公共牧場交流会、展示圃の継続調査、情報の収集・提供を行うと共に地域の活動を支援し、草地畜産に関する普及啓発活動を実施した。

① 稲WC Sに関する現地研修会（十和田市）

② 十和田市公共牧場再生シンポジウム（十和田市）

③ 草地整備に係るGPS簡易測量支援（十和田市）

4. 馬事畜産振興対策事業

青森県馬事畜産振興協議会を通じて盛岡競馬場の観戦ツアー並びに畜産フェア（県産畜産物の配布）を開催した。

① 盛岡競馬場観戦ツアー（H24.10.7 岩手県盛岡市） 75名

② 畜産フェア（H24.11.25 十和田市） 200個

3 価格安定対策

1. 補給金事業

（1）肉用子牛生産者補給金制度（機構補助・補てん金 125,401,650円）

肉用子牛の再生産の確保と農業経営の安定を図るため肉用子牛の価格が低落し国の定める保証基準価格を下回った場合にその価格差を補てんする肉用子牛生産者補給金制度を実施した。

平成24年度は、第5業務対象年間の3年目であるが、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により個体登録頭数が大きく減少した昨年から回復し、前年比110%の11,446頭となったが、22年比では95%であり、震災前の水準までには至っていない。

生産者補給金の交付については、その他肉専用種及び乳用種で1年間を通じて平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、その他肉専用種では253頭に対し16,659,000円、乳用種は4,120頭に対し108,742,650円の生産者補給金を交付した。黒毛和種及び乳用交雑種においては、生産者補給金の交付は至らなかった。

① 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

区 分	平成 22 年度末	平成23年度末	平成24年度末
個 人	1,032	1,061	1,064
農 協	5	5	5
農事組合法人	3	3	3
株式会社	2	2	2
有限会社	6	8	8
市 町 村	1	1	1
そ の 他	0	0	0
計	1,049	1,080	1,083

② 事務委託先契約締結状況

(単位：件)

区 分	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末
総合農協	9	9	9
専門農協	4	4	4
そ の 他	1	1	1
計	14	14	14

③ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区 分 品種区分		平成 24 年	4 月 1 日	7 月 1 日	10 月 1 日	1 月～	平成 25 年
		1 月 1 日 ～ 3 月 31 日	4 月 1 日 ～ 6 月 30 日	7 月 1 日 ～ 9 月 30 日	10 月 1 日 ～ 12 月 31 日	1 月～ 12 月 合 計	1 月 1 日 ～ 3 月 31 日
黒毛和種	継続	297	259	261	405	1,222	268
	新規	822	658	708	942	3,130	862
	計	1,119	917	969	1,347	4,352	1,130
褐毛和種	継続	0	0	0	0	0	0
	新規	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
その他 肉専用種	継続	5	3	8	5	21	7
	新規	36	24	78	51	189	30
	計	41	27	86	56	210	37
乳用種	継続	1	5	0	2	8	1
	新規	1,582	1,022	865	803	4,272	1,570
	計	1,583	1,027	865	805	4,280	1,571

乳用交雑種	継続	2	7	1	1	11	2
	新規	698	649	598	648	2,593	627
	計	700	656	599	649	2,604	629
合 計	継続	305	274	270	413	1,262	278
	新規	3,138	2,353	2,249	2,444	10,184	3,089
	計	3,443	2,627	2,519	2,857	11,446	3,367

④ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備 考
黒毛和種	310,000	268,000	
褐毛和種	285,000	247,000	
その他肉専用種	204,000	142,000	
乳用種	116,000	83,000	
乳用交雑種	181,000	138,000	

⑤ 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重
黒毛和種	240キログラム以上 310キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上 340キログラム以下
無角和種	230キログラム以上 300キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上 300キログラム以下
アングス種及びヘレフォード種	180キログラム以上 280キログラム以下
ホルスタイン種（雌を除く）	220キログラム以上 310キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	220キログラム以上 310キログラム以下

⑥ 平均売買価格

(単位：円)

区 分	品種区分				
	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
平成24年 1月 1日～ 3月31日	424,200	331,600	152,400	89,900	240,700
平成24年 4月 1日～ 6月30日	402,700	349,600	130,100	81,500	218,100
平成24年 7月 1日～ 9月30日	402,100	360,800	108,900	91,900	210,500
平成24年10月 1日～12月31日	424,800	376,800	137,800	97,800	222,700

⑦ 生産者積立金造成内訳

(単位：頭、円)

品 種		個体 登録 頭数	積立金 単価	積立金 所要額	負 担 区 分		
					機 構 (1/2)	青 森 県 (1/4)	生 産 者 (1/4)
黒毛和種	継続	1,222	2,200	—	—	—	672,100
	新規	3,130	2,200	—	—	—	1,721,500
	計	4,352	—	9,574,400	4,787,200	2,393,600	2,393,600
褐毛和種	継続	0	11,900	—	—	—	0
	新規	0	11,900	—	—	—	0
	計	0	—	0	0	0	0
その他 肉専用種	継続	21	24,400	—	—	—	128,100
	新規	189	24,400	—	—	—	1,152,900
	計	210	—	5,124,000	2,562,000	1,281,000	1,281,000
乳用種	継続	8	12,700	—	—	—	25,400
	新規	4,272	12,700	—	—	—	13,563,600
	計	4,280	—	54,356,000	27,178,000	13,589,000	13,589,000
乳用 交雑種	継続	11	5,000	—	—	—	13,750
	新規	2,593	5,000	—	—	—	3,241,250
	計	2,604	—	13,020,000	6,510,000	3,255,000	3,255,000
合 計	継続	1,262	—	—	—	—	839,350
	新規	10,184	—	—	—	—	19,679,250
	計	11,446	—	82,074,400	41,037,200	20,518,600	20,518,600

(注) 個体登録頭数は平成24年1月～12月分

契約生産者1頭当たり積立金額

(単位：円)

品 種	負 担 金	備 考
黒毛和種	550	
褐毛和種	2,975	
その他肉専用種	6,100	
乳用種	3,175	
乳用交雑種	1,250	

⑧ 生産者積立金及び生産者積立準備金管理状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分					合 計		
		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種			
1 期 首 残 高	①生産者積立金	32,127,363	0	7,909,095	98,479,286	23,561,548	162,077,292		
	②生産者積立準備金	-	-	-	-	-	121,199,700		
	内 訳	③生産者の負担金充当分	-	-	-	-	-	25,033,161	
		④県の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	96,166,539	
		⑤機構の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	0	
2 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	⑥生産者積立金純増加額(⑨+⑫+⑮+⑱)	6,508,700	0	3,714,900	40,741,600	9,751,250	60,716,450		
	⑦生産者積立準備金からの繰入額(⑩+⑬+⑯)	3,065,700	0	1,409,100	13,614,400	3,268,750	21,357,950		
	⑧ 計	9,574,400	0	5,124,000	54,356,000	13,020,000	82,074,400		
	内	生産者	⑨負 担 金	1,721,500	0	1,152,900	13,563,600	3,241,250	19,679,250
			⑩生産者積立準備金③からの繰入額	672,100	0	128,100	25,400	13,750	839,350
			⑪小 計	2,393,600	0	1,281,000	13,589,000	3,255,000	20,518,600
	内	県	⑫生産者積立助成金	0	0	0	0	0	0
			⑬生産者積立準備金④からの繰入額	2,393,600	0	1,281,000	13,589,000	3,255,000	20,518,600
			⑭小 計	2,393,600	0	1,281,000	13,589,000	3,255,000	20,518,600
	内 訳	機構	⑮生産者積立助成金	4,787,200	0	2,562,000	27,178,000	6,510,000	41,037,200
			⑯生産者積立準備金⑤からの繰入額	0	0	0	0	0	0
			⑰小 計	4,787,200	0	2,562,000	27,178,000	6,510,000	41,037,200
			⑱生産者積立金とすることを指定して寄附 又は補助された財産	0	0	0	0	0	0
	3 他 の 資 産 か ら の 繰 入 状 況 等	⑲特別の積立金から生産者積立金への繰入額	0	0	0	0	0	0	
		⑳調整積立金から生産者積立金への繰入額	0	0	0	0	0	0	
		㉑生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0	0	
		㉒生産者積立金に係る運用果実	60,579	0	1,708	147,096	3,983	213,366	
㉓他資金から生産者積立金への繰入額		0	0	0	0	0	0		
㉔生産者補給金交付額(生産者積立金部分)		0	0	1,981,800	1,597,050	0	3,578,850		
㉕生産者積立金からの借入金返済額		0	0	0	0	0	0		
㉖他資金からの繰入による借入金返済額		0	0	0	0	0	0		
㉗他の資金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0		
㉘生産者積立準備金に係る運用果実		-	-	-	-	-	164,828		
㉙生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0		
㉚生産者積立準備金からの返還額(生産者分)		-	-	-	-	-	273,274		
㉛生産者積立準備金からの返還額(県分)	-	-	-	-	-	0			
㉜生産者積立準備金からの返還額(機構分)	-	-	-	-	-	0			
4 期 末 残 高	㉝生産者積立金(①+⑧+⑨+⑫+⑮+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜)	41,762,342	0	11,053,003	151,385,332	36,585,531	240,786,208		
	㉞生産者積立準備金(②+⑦+⑩+⑬+⑯+㉚+㉛+㉜)	-	-	-	-	-	99,733,304		
	内 訳	㉟生産者の負担金充当分	-	-	-	-	-	23,965,629	
		㊱県の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	75,767,675	
	㊲機構の生産者積立助成金充当分	-	-	-	-	-	0		

⑨ 特別の積立金造成状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種	合計
期首残高					12,559,293		12,559,293
増 加	積立金				0		0
	運用益				2,575		2,575
	小計				2,575		2,575
減 少	普通財産へ繰入				1,378,400		1,378,400
	生産者積立準備金へ繰入				0		0
	償還円滑化積立金へ繰入				0		0
	小計				1,378,400		1,378,400
期末残高					11,183,468		11,183,468

⑩ 償還円滑化積立金造成状況

(単位：円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用交雑種	合計
期首残高			126,880		285,829	8,904,637	9,317,346
造 成 内 訳	機構補助金						0
	青森県補助金						0
	生産者負担金						0
	合計		0		0	0	0
特別の積立金より繰入額			0		0	0	0
運用益			273		616	19,217	20,106
全国協会への償還額			0		0	0	0
期末残高			127,153		286,445	8,923,854	9,337,452

⑪ 生産者補給交付金交付状況

(単位：頭、円、人)

区分	保証基準価格の 品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳用 交雑種	合計
平成 24 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日	交付対象 頭数①	販 売			14	675		689
		保 留			83	374		457
		合 計			97	1,049		1,146
	②生産者補給金単価				51,600	26,100		—
	③生産者補給金交付額				5,005,200	27,378,900		32,384,100
	(①×②)	不足払部分			5,005,200	27,378,900		32,384,100
		積立部分			0	0		0
交付対象生産者数				12	18		27	
平成 24 年 4 月 1 日 ～ 6 月 30 日	交付対象 頭数①	販 売			2	845		847
		保 留			45	338		383
		合 計			47	1,183		1,230
	②生産者補給金単価				72,710	34,350		—
	③生産者補給金交付額				3,417,370	40,636,050		44,053,420
	(①×②)	不足払部分			2,914,000	39,039,000		41,953,000
		積立部分			503,370	1,597,050		2,100,420
交付対象生産者数				6	16		22	
平成 24 年 7 月 1 日 ～ 9 月 30 日	交付対象 頭数①	販 売			2	623		625
		保 留			39	456		495
		合 計			41	1,079		1,120
	②生産者補給金単価				91,790	24,100		—
	③生産者補給金交付額				3,763,390	26,003,900		29,767,290
	(①×②)	不足払部分			2,542,000	26,003,900		28,545,900
		積立部分			1,221,390	0		1,221,390
交付対象生産者数				6	18		23	
平成 24 年 10 月 1 日 ～ 12 月 31 日	交付対象 頭数①	販 売			43	422		465
		保 留			25	387		412
		合 計			68	809		877
	②生産者補給金単価				65,780	18,200		—
	③生産者補給金交付額				4,473,040	14,723,800		19,196,840
	(①×②)	不足払部分			4,216,000	14,723,800		18,939,800
		積立部分			257,040	0		257,040
交付対象生産者数				9	16		23	
合 計	交付対象 頭数①	販 売			61	2,565		2,626
		保 留			192	1,555		1,747
		合 計			253	4,120		4,373
	②生産者補給金単価				—	—		—
	③生産者補給金交付額				16,659,000	108,742,650		125,401,650
	(①×②)	不足払部分			14,677,200	107,145,600		121,822,800
		積立部分			1,981,800	1,597,050		3,578,850
交付対象生産者数				18	23		37	

2. 補助事業

(1) 肉用牛繁殖経営支援事業（機構補助・事業費 8,728,500円）

① 事業内容：肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が発動基準を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の3/4を交付する。

② 発動基準

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準	380,000円	350,000円	250,000円

③ 交付状況

(単位：円)

区 分	黒毛和種		褐毛和種		その他肉専用種	
	頭数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額
平成23年度第4四半期	—	—	0	0	97	3,346,500
第1四半期	—	—	0	0	47	1,621,500
第2四半期	—	—	0	0	41	1,414,500
第3四半期	—	—	0	0	68	2,346,000
計	—	—	0	0	253	8,728,500

区 分	合 計	
	頭数	金 額
平成23年度第4四半期	97	3,346,500
第1四半期	47	1,621,500
第2四半期	41	1,414,500
第3四半期	68	2,346,000
計	253	8,728,500

(2) 肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助）

(事業費 12,334,759円うち補助金 7,873,875円)

肉用牛生産が中山間地域の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしていることを踏まえ、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援、地域の特長ある肉用牛振興対策等を実施し、多様な肉用牛経営の実現を図った。

① 中核的担い手育成増頭推進

計画的に高能力の肉専用種繁殖雌牛を増頭した者に対する奨励金の交付

② 肉用牛ヘルパー推進

肉用牛ヘルパー利用組合が実施した活動経費に対する補助

- ③ 地方特定品種等の振興
地方特定品種の低コスト生産を行うために必要な放牧地の整備等に対する補助
- ④ 山振地域における肉用牛振興
山振地域在住生産者に対する優良子牛の適正出荷奨励金の交付
- ⑤ 肉用牛振興推進指導
推進会議等の開催、事業推進指導の実施

(3) 肉用牛子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（機構補助）

① 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（事業費 8,416,994円）

ア 制度運営適正化推進

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適正な実施を図るため、肉用子牛の個体識別、個体登録及び販売・保留・異動の確認等事務推進に努めた。また、家畜市場における肉用子牛の取引情報を収集し、独立行政法人農畜産業振興機構へ報告を行った。

イ 指定協会調査指導

協会の業務規程に基づき、協会が事務を委託する者が行う委託事務の執行についての点検、調査及び指導を実施し、肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保に努めた。

② 指定協会運営体制支援事業（事業費 5,031,355円）

肉用子牛生産者補給金制度の業務を円滑に遂行するため、独立行政法人農畜産業振興機構から財政支援を受け、当協会の運営体制の充実を図った。

3. 委託事業

(1) 養豚経営安定対策事業（機構委託・事業費 565,077円）

全国の豚枝肉卸売平均価格が生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合、その差額の8割を補填することにより、養豚経営の安定と豚肉の安定供給を図る事業である。

本年度は、(独)農畜産業振興機構の委託を受け、事業実施主体となる養豚生産者及び関係団体への事業説明会を開催したほか、事業内容の問い合わせ対応を行った。

また、2戸の養豚生産者と申請事務等委託契約を締結し、生産者が(独)農畜産業振興機構へ提出する書類の作成代行等の事務を行った。

- ① 対象肉豚：全規格の肉豚（全廃棄・自家消費豚は除く）
- ② 生産者積立金：第1・2四半期…1,400円/頭（うち生産者負担額700円）
第3・4四半期…4,400円/頭（うち生産者負担額2,200円）
- ③ 保証基準価格：460円/kg
- ④ 補てん金単価：指標枝肉価格が保証基準価格を下回った場合、その差額の8割に1頭当たりの枝肉重量（=77kg）を乗じた額

4. 肉用子牛生産者補給金の不正受給について

平成18年度に確認された不正受給については、引き続き(独)農畜産業振興機構と協議しながら返還に係る請求等を行っている。

特別会計

1. 牛の検査材料保冷施設特別会計（事業費 9,293,548円）

(1) 牛海綿状脳症対策特別措置法に基づく、24月齢以上のすべての死亡牛を管理するため、県が設置した「牛の検査材料保冷施設」の管理委託を受け運営した。

- ① 設置場所： 野辺地町（畜産研究所内）
- ② 年間取扱頭数： 1,286頭

(2) 牛海綿状脳症清浄化推進対策事業（県委託・(1)の内数で事業費 1,257,000円）

牛の検査材料保冷施設における死亡牛のBSE検査に係る採材補助業務を行い、当該検査の円滑な推進を図った。

2. 肉用牛肥育経営安定特別対策特別会計（事業費 3,064,066,826円）

肉用牛肥育経営安定特別対策事業の生産者積立金の徴収及び基金管理の適正な運営を図った。

平成24年度(4～3月)基金管理状況

平成25年3月31日現在

区 分		肉専用種	交 雑 種	乳 用 種	計
生産者積立頭数		－ 頭	828 頭	－ 頭	828 頭
		3,753 頭	4,070 頭	20,529 頭	28,352 頭
		3,753 頭	4,898 頭	20,529 頭	29,180 頭
生産者積立金単価		－ 円	25,000 円	－ 円	－
		13,000 円	30,000 円	30,000 円	－
前期繰越金(A)		161,912,432	273,197,970	41,949	435,152,351
収 入	生産者積立金	48,789,000	142,800,000	574,398,000	765,987,000
	機構補助金	146,367,000	428,400,000	1,723,194,000	2,297,961,000
	受 取 利 息	31,262	45,970	41,594	118,826
	計 (B)	195,187,262	571,245,970	2,297,633,594	3,064,066,826
基金累計額(A+B)		357,099,694	844,443,940	2,297,675,543	3,499,219,177
支 出	補填金交付額	115,230,700	539,886,000	1,604,654,300	2,259,771,000
	積立金返戻額	0	0	0	0
	計	115,230,700	539,886,000	1,604,654,300	2,259,771,000
地域基金残額		241,868,994	304,557,940	693,021,243	1,239,448,177

平成24年度 補填金の交付状況

(単位：頭・円)

区 分	肉専用種		交 雑 種		乳 用 種		計
	頭数	単価	頭数	単価	頭数	単価	
平成24年2月期	237	67,000	420	150,800	1,683	73,100	202,242,300
	15,879,000		63,336,000		123,027,300		
平成24年3月期	260	39,900	362	152,300	1,729	72,700	191,204,900
	10,374,000		55,132,600		125,698,300		
平成24年4月期	253	7,600	414	91,900	1,663	108,300	220,072,300
	1,922,800		38,046,600		180,102,900		
平成24年5月期	254	25,000	401	89,500	1,665	84,700	183,265,000
	6,350,000		35,889,500		141,025,500		
平成24年6月期	308	30,900	386	114,100	1,705	76,400	183,821,800
	9,517,200		44,042,600		130,262,000		
平成24年7月期	291	25,400	429	115,500	1,706	75,000	184,890,900
	7,391,400		49,549,500		127,950,000		
平成24年8月期	270	82,400	433	122,000	1,862	79,600	223,289,200
	22,248,000		52,826,000		148,215,200		
平成24年9月期	314	46,300	403	111,000	1,773	82,200	205,011,800
	14,538,200		44,733,000		145,740,600		
平成24年10月期	313	50,100	430	113,000	1,724	77,800	198,398,500
	15,681,300		48,590,000		134,127,200		
平成24年11月期	362	8,400	491	91,200	1,782	70,900	174,163,800
	3,040,800		44,779,200		126,343,800		
平成24年12月期	—	—	546	52,100	1,716	68,000	145,134,600
	—		28,446,600		116,688,000		
平成25年1月期	280	29,600	394	87,600	1,661	63,500	148,275,900
	8,288,000		34,514,400		105,473,500		
計	3,142	—	5,109	—	20,669	—	2,259,771,000
	115,230,700		539,886,000		1,604,654,300		

付 表

(1) 自主防疫推進事業実績（平成24年度）

① 家畜伝染病予防接種実績頭数

(単位：円/頭・羽)

区 分		24年度 計画頭数	実績頭数 合 計	地区別実績頭数				
				東 青	三 八	上十三	む つ	津 軽
(1) 補助事業								
牛	牛 ア カ バ ネ 病	8,460	8,035	283	1,721	3,963	1,339	729
	牛 異 常 産 (3種混合)	0	42		40		2	
	牛流行熱・イバラキ病(混)	0	44		20	23	1	
馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	355	397		342	11	24	20
	馬 インフルエンザ	135	79		54	18	5	2
	馬 流 行 性 脳 炎	35	13		12	1		
	馬 鼻 肺 炎	121	125		95	24	6	
	馬インフルエンザ(自衛)	0	127	12	92	20	3	
(2) 協会事業								
豚	豚 丹 毒 (生20ml)	42,600	25,139		7,382	13,562	940	3,255
	豚 丹 毒 (生50ml)	47,000	35,236		9,173	26,063		
	豚 丹 毒 (不・オイル)	7,000	6,900		6,900			
	豚 流 行 性 脳 炎	1,000	985			985		
	豚パルボウイルス感染症							
	豚流脳・バルボ(混)	260	60					60
牛	牛伝染性鼻気管炎(5種)	8,400	7,875	203	1,479	4,323	1,343	527
	牛伝染性鼻気管炎(6種)	80	10,716	232	7	5,926	4,523	28
	牛クロストリジウム(3種)	8,190	7,603	387	938	3,656	1,912	710
	牛クロストリジウム(5種)	100	103				103	
	牛ヘモフィルス感染症	0	2,221	154	487	1,040	345	195
	牛 下 痢 (5種混合)	170	160	69				91
馬	馬インフル・流脳・破傷風(混)	15	113	12	85	13	3	
	馬 インフルエンザ	25	6		6			
	馬 流 行 性 脳 炎	15	31	12	5	11	3	
	馬 鼻 肺 炎	0	21		21			
鶏	ニューカッスル病(ND)	85,000	100,000	24,000				76,000
	ニューカッスル病・IB(混)	44,000	59,000	6,000				53,000